



が っ こ う

学校だより

令和3(2021)年11月30日
横浜市立六浦中学校
校長 込江 茂久

「だれもが ^{あんしん}安心して ^{ゆた}豊かに」生活できる学校を目指して

し わ す の そ 師走に、望む

こうちやう こみえ しげひさ
校長 込江 茂久

むちゅうせい じぶん まち あい つた
六中生は自分の町を愛している、それが伝わる
むちゅうせいせんりゆう ほんとう ところ あたか かれ
六中生川柳は本当に心が温まります。そんな彼
らの心意気を別の形で表現できるかもと考え、
ほんこう かいじやう むつうら ち くちいきぼうさいくんれん
本校を会場にした六浦地区地域防災訓練に

て ちいき あい つよ
手にとって地域の愛は強いはず
こんなん ちいきいちがんのこ
困難も地域一丸乗り越える！
いつまでも ずーっとずっと つづく町
むちゅうせいせんりゆう
R3六中生川柳より

じはつてき さんか よ か いま ちゅうがくせい ぜつとせだい よ かれ しゃかいかだい たか かん
自発的な参加を呼び掛けました。今の中学生はZ世代と呼ばれますが、彼らは社会課題に高い関
心を持ち、社会課題を解決できる仕事かどうかで就職先を選ぶ傾向があるとも言われています。所
かわって石川県の加賀市では、このような市民の意識を地域の課題解決に生かす取組として「#マ
ンホール聖戦」を今月実施しました。壊れたマンホールは危険ですが、市内にある8千箇所全てをチ
ェックすること難しい。そこで市民の力とテクノロジーを組み合わせました。市民は町中を歩きながら
マンホールをスマホで撮影して送信すればポイントが貯まって景品が貰えます。こんなゲームにすると
たった1日で全マンホールの情報が集まったということです。このように、これまでにない手段や発想
で解決する力を付けることこそが新しい教育が目指すものです。話を六浦に戻します。ここにもある
社会的課題の中で防災訓練が解決につながる一つは災害時の要援助者問題です。発災が平日昼
間だった時に援助に行ける人材として中学生に期待がかかります。防災訓練に参加した生徒はこの
部分に反応したのでしょうか。大人になった時に出来ることを増やすために勉強をしているわけですが、
今出来ることをしたいという気持ちもある。そういう想いが表現できる学校でありたいと、望みます。

むちゅうむつ 六中6つの「あ」

- ^{あいさつ}挨拶
- ^{あ まえ せいかつ}当たり前の生活
- ^{あいていしき こうどう}相手意識をもった行動
- ^{あんぜん かんきやう}安全な環境づくり
- ^{あんしん かんきやう}安心な環境づくり
- ^{あら じぶん}新たな自分づくり